

平成29年度 指定管理業務 評価票

住吉公園	都市公園住吉公園指定管理共同体	【指定期間】 平成29年4月1日～平成34年3月31日まで	【所管課】 鳳土木事務所 都市みどり課
------	-----------------	----------------------------------	------------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【住吉公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S～C)	評価 (S～C)	評価 (S～C)	評価 (S～C)	
I 提案の履行状況に関する項目						
(1) 施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	【実績】 ○住吉公園は、歴史が息づく憩いの場と、多様なレクリエーションを提供する公園を目指し「安全性に優れ、美しく快適な空間を担保する歴史的公園」を管理運営の理念とし、府民の財産を守り育み、次世代へと継承していくために鳳土木事務所と連携し、持続性に、かつ効果的、計画的に管理運営を行いました。 ○明治6年に開設された住吉公園は、かつて住吉大社の境内の地であり、大阪府では最も古い歴史を有する公園であり、園内には、住吉大社関連の歴史的建造物を有することから、住吉大社、(公財)住吉名勝保存会との連携を強め、「汐掛道」の歴史的景観にマッチした花壇計画と白砂青松を彷彿させる松の管理による演出を行い、歴史的文化遺産を引き立たせました。 ○住之江公園(ふたつでひとつの公園)との月1回の運営会議を行い、レンタサイクル事業、連携イベント「すみすみ公園フェスタ」(H29年5月6日・7日開催)「イザ！カエルキャラバン！」(H30年1月開催予定)を開催しました。また、住之江区役所や粉浜商店街、地域住民、地元NPOとの連携を図り、イベント開催など地域の活性化に取り組みました。 【自己評価】 ○地域の活性化、ゆとり空間の演出、また住之江公園とのレンタサイクル事業では、利用者の利便性において好評価をうけています。 ○歴史の重みを感じさせる松の剪定や樹木の管理を1年1年積み上げ、存在感のある公園に近づけています。	A	事業実施計画書の提案などに沿った管理運営を実施した。 ○近隣の住之江公園と連携した合同イベントの開催などは高く評価できる。 ○住吉公園の歴史的景観に配慮した管理運営は高く評価できる。	A	事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 特に、近隣の住之江公園との連携によるイベント開催を継続して行っていることが評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	【実績】 ○大阪府オーパス・スポーツ施設情報システムの適正な運用を行い、平等利用につとめました。 ○住吉公園の体育館は冷暖房完備の施設にて、他の公園では類を見ない施設として好評を得ています。その施設利用者への公平性を確保する為、毎月1日には体育館、毎月10日には住吉公園集会所と抽選日を設定し、利用者の抽選会を行い平等利用につとめました。また、施設利用者の利便性を考慮し抽選方法の改善や所要時間の短縮を図り、施設利用者の立場にたった運営が出来ています。 ○住之江公園との連携のもと、「住之江・住吉公園ヒーリングガーデナークラブ」の支援活動を行い、住吉公園内では、高齢者施設よりゲストを迎える予定をしておりましたが、今年度は悪天候のため中止となりました。クラブとの良好な関係を築きながらよりハートフルな住吉・住之江公園となるよう努め、計画、実施、問題点等の振り返りを行う等、住之江公園との連携のもと、クラブのサポートを行って参りました。 【自己評価】 ○適正な運用により、施設の平等利用を確保することができました。 ○「住之江・住吉公園ヒーリングガーデナークラブ」の活性化に向け、引き続き活動支援を行っていきます。	A	事業実施計画書の提案などに沿った平等利用に努めた。	A	オーパスシステムの適正な運用など、施設利用者の利便性に配慮した取組みは評価できる。 引き続き、平等利用の促進に努められたい。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【住吉公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。)</p> <p>※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。 来園者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認</p>	<p>【実績】 ・来園者数(H29年4月~11月):別紙参照 ・稼働率(H29年4月~11月平均)テニスコート・軟式野球場 <テニスコート平均稼働率>4月63.2%、5月61.6%、6月48.9%、7月57.3%、8月54.8%、9月56.1%、10月56.1% <軟式野球場平均稼働率>4月58.4%、5月63.0%、6月50.8%、7月57.2%、8月52.9%、9月64.7%、10月52.9% ○地元の高等学校や市民団体、NPO等が参画する「すみすみ公園フェスタ」、住吉大社の観月祭に合わせた「キャンドルナイトin住吉公園」の開催、地元の「大阪ちん電バル」との連携イベント「夕暮れを待つ公園イベント」、住吉区のイベント「すみ博」を行い、賑わいを創出しました。 ○住之江区役所や地元のNPO、市民団体による「住之江CSOネットワーク」、粉浜商店街をはじめとした地元住民による「粉浜サポーター」、「住吉公園さくらカーニバル実行委員会」への参画などにより、公園からの情報提供や、地元との交流を深めることができ、地域の要望や住吉公園の運営、広報にもご協力頂くことができました。今後も地域の一人として活動する事で、場所に限定されないプラトホームの位置付けを模索し、常にアンテナを張りつづけていきます。 ○「すみすみマルシェin住吉公園」が定着し、実行委員会である地域の人々の働きかけで広域的に周知されるようになりました。 ○住吉公園~住之江公園レンタサイクル事業を継続して行なっています。(自転車保険加入済み)住吉公園は南海電鉄「住吉大社駅」に隣接する好立地でもあり、年々利用者は増加しています。住之江区や住吉区内の営業に利用される方や観光目的に利用される方、外国の方もご利用されるようになりました。また、自転車は毎朝整備を行い、車両トラブルが無いように努めました。 ○設置案内、公園のイベント情報などは、HP、SNSなどのWEB(電子媒体)のほか、公園掲示板・パンフレット・年4回発行の季刊誌(まちの公園新聞)・事務所内ポスター展示を活用する事でニーズにあった情報提供に努めました。 ○スポーツ施設の利用者増加に向け、軟式野球場・運動場の管理レベル向上に取り組みました。</p> <p>【自己評価】 ○上記の取組みから、地域との関係性を良好にすることで、情報発信や要望等の入手が可能となりました。公園・地域を中心としたさまざまな取組みの相乗効果が期待できます。 ○「すみすみマルシェin住吉公園」の出店者数増加など、賑わい創出・活性化に向けて、今後も引き続き取り組んでいきます。</p>	A	<p>事業実施計画書の提案などに沿った公園の利便性向上を実施した。</p> <p>○地域や各種団体と連携したイベントを積極的に実施し、公園を中心とした様々な相乗効果を生み出していることについて、高く評価している。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。 地域や各種団体と連携したイベントを積極的に実施し、公園を中心とした様々な相乗効果を生み出していることが評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	施設所管課の評価	評価 (S~C)	【住吉公園】 評価委員会の指摘・提言
	収益事業の実施状況、(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)(※ Aグループのみ、Bグループも実績があれば記載可)	○現在新たな収益事業を模索中	A	事業実施計画書の提案などに沿った収益事業については、現在大阪府と協議中である。 ○新たな収益事業を実施することを期待する。	A	新たな収益事業の実施を期待する。
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。(接遇等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「相談・苦情受付窓口」を設置しています。 ○スタッフ全員が情報を共有できるよう毎朝の朝礼・月1回の工程会議および運営会議、安全衛生協議会などで伝達しています。 ○苦情や相談情報を分析し、管理運営に反映しています。 ○繁忙期には、トラブル防止のため人員配置のローテーションを考慮しました。 ○住吉大社の祭礼や行事に際して、地域・警察・消防などの運営会議に参加し、内容を職員に伝達し、トラブルなどの未然防止に努めました。 ○トラブルの未然防止や対応には、職員の公園管理者としての資質の向上が急務のため、人権研修・接遇マナーなどの職員研修を実施しました。 ○園内に「犬のトイレ」を設置、春・秋には公園における犬の散歩マナー向上、「犬のトイレ」への周知を目的に「わんわんゴミひろい」を実施しました。(H29年11月11日実施／H30年3月実施予定) ○様式第21号(苦情等処理簿)に記載・記録し、鳳土木事務所と共有しています。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝礼などで、来園者や公園利用者に対する接し方や言葉遣いへの注意を喚起し、ゆとりや寛ぎが感じられる公園運営に努めました。 ○住吉大社の祭礼・行事には積極的に協力し、トラブルの未然防止に努めました。 	A	事業実施計画書の提案などに沿ったトラブルの未然防止や発生した際の処理は適正に行われた。 ○住吉大社の祭礼・行事に積極的に協力していることに対しては評価できる。	A	住吉大社への協力など、トラブルの未然防止に努めたことに対しては評価できる。引き続き、トラブルの未然防止、適正な対処に努められたい。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【住吉公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(4) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】 ○「花の回廊」を有する住吉公園では維持管理計画以上の回数を目標に実施し、適正管理に努めました。また、来園者や近隣住民に安心・安全な機械・人力除草に努めました。 ○芝生地管理については、管理計画に基づいて実施し、手入れの行き届いた公園であると、地元や来園の方から評価もいただきました。 ○樹木管理につきましては、立地条件に応じた下枝の剪定を行い、見通しの良い安全性に配慮した剪定を行いました。また、枝の伸びすぎた高木は自然樹形を損なわないように、切り詰め、透かし等の剪定を行い、明るく安全な木陰の創出に努めました。 ○老木化したサクラの危険木調査を行い、大阪府と協議しサクラ更新計画を立案し、今年度の予定を遂行しました。 ○また、更新時には府民をはじめ地域住民の理解を得ることが重要であるため、地域住民(町会・商店街・粉浜サポーター)や一般府民を対象とした「住吉公園さくらサポーター」を立ち上げ、(公財)住吉名勝保存会や粉浜商店街、地域住民との実行委員会により「住吉公園さくらカーニバル」を開催、サクラの植樹祭を催しました。</p> <p>【自己評価】 ○草地・芝生地については、年間を通じて適正管理につとめ、園内の景観美化を維持できました ○危険木調査後に倒木や枝折れの可能性のある樹木については、伐採や危険枝の剪定につとめました。その結果、汐掛道をはじめ園内の安全確保、見通し良好、施設への阻害要因の除去、景観向上に寄与することができました。また、公園を特徴づける樹木に配慮しながら、樹木管理に努めています。 ○主要園路である汐掛道沿いの高木(センダン等)は、夏の日差しを和らげる大事な役目がありますが、枝が太く、横に広く張り出しているため、枝が裂ける危険性が顕著なため、切り戻し剪定を重点的に行いました。 ○住吉公園ではマツが特徴づける樹木であることから、住吉の浜をイメージできるよう重点的に管理を行いました。 ・心字池周辺のマツの景観づくり ・汐掛道周辺のマツの景観づくり ・サクラ広場付近のマツの支柱補強</p>	A	<p>事業実施計画書の提案などに沿った草地管理などを実施した。かつ、応募時の提案以上の取組みを実施している。</p> <p>○樹木管理について、積極的に松の景観づくりを提案・実施していることは非常に高く評価できる。</p> <p>○花壇管理について、維持管理計画以上の管理を実施するとともに、提案以上のきめ細かい除草を実施した。</p>	S	<p>事業実施計画書の提案などに沿った草地管理などを実施した。かつ、応募時の提案以上の取組みを実施している。</p> <p>積極的に松の景観づくりを提案・実施していることなどが高く評価できる。</p> <p>花壇デザインについては、さらに深められたい。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】 ○「公園はきれいで清潔であるべきである」をモットーとして日々の清掃(消毒)はもとより、来園者が多く予想される土・日・祝日前後を重点的に、園内を3エリアに区分して清掃を行い、年間を通じて適正な維持管理に努めました。また、園内だけでなく外周等の周辺清掃も適宜実施しており、住吉大社の祭事や行事に合わせて、清掃スタッフを増員するなどの対策を講じました。 ○トイレにつきましては、清潔さを保つため毎日清掃を行いました。不定期ですが重点清掃として、手洗い水の量・消毒・側壁・天井・照明器具などの清掃を行い、明るさと清潔保持に努めました。また各トイレにハートフル点検表を設置し、1日3回の巡視・清掃を行っており、汚れ落書きなどへの早期発見・対応を図りました。 ○住吉大社の初詣(年末年始)には、トイレおよび園内清掃スタッフを配置し、園内の美観を損なわないようにつとめました。(予定)</p> <p>【自己評価】 ○清掃については、年間を通じて適正な維持管理業務に努めました。 ○トイレにつきましては、ハートフル点検表の活用により、清潔維持はもとより、便器などの異常の早期発見につながり、迅速な対応が図れました。</p>	A	<p>事業実施計画書の提案などに沿った園内清掃を実施した。</p> <p>○住吉大社の行事などに併せて、園内清掃等を増やすなど良好な管理に努めている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。</p> <p>住吉大社の行事などに併せて、園内清掃等を増やすなど良好な管理に努めている点が評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【住吉公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。					
	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	<p>【実績】 ○体育館は、日常清掃(毎日)・定期清掃(年2回)を実施し、清潔保持に努めました。 ○テニスコートは、ネットなどの消耗品の交換をはじめ、利用者が使用される前に清掃を実施、月2回は専用ブラシにて表面整正をおこない、砂の補充をはじめ会所清掃を行いました。 ○野球場は日常管理として、ごみ処理や必要に応じての散水を行いました。また、ベース周辺はトンボなどで整地を行うとともに、道具置き場は施設前に清掃し、道具の点検も行っております。月2回、専門業者により、レーキや、スチールアングル・スチールマットにて土の掻き起こし、不陸整正・表面仕上げを実施しました。年4回、適正量の苦汁の散布を実施しました。芝生の管理は、自走式の芝刈り機を使用し4月から11月までに12回、人力除草は随時実施しました。 ○運動場については、管理要領以上の管理として、月1回専用ブラシやスチールアングル・スチールマットで表面修正を行いました。また、年1回、適正量の苦汁散布を行いました。</p> <p>【自己評価】 ○運動施設については、スチールマットの購入や消耗品の交換を含め、適正なレベル管理により、すべての施設利用者が安全で快適にご利用いただけるように維持管理ができました。</p>	A	事業実施計画書の提案などに沿った運動施設の管理を実施した。	A	事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 テニスコートなどの運動施設について、消耗品の交換を含め適正な管理を行い、すべての施設利用者が安全で快適に利用できるように維持管理していることが評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)					
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【住吉公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】 ○サクラ更新に伐採したサクラ等を無駄なく活用するため、チップ化したものはバタフライガーデンの小径等に活用しました。 ○家庭花壇やプランターの植え替えなどで生じた不要園芸土をお預かりし、チップなどを混ぜて熟成させ、リサイクル土として後日お持ち帰りいただいております。園芸土が投棄ゴミとならないよう、自然環境に配慮した取り組みを続けています。 ○公園を利用した自然環境学習に取り組んでいただけるよう、「セミの抜け殻さがしと昆虫観察」(H29年8月27日)を実施しました。 ○心字池の浚渫に合わせ、地元的环境保全団体“大和川つりクラブ”に講師依頼し、「親子で楽しむおさかな調査隊」を開催しました。心字池の生きもの調査や外来種の駆除ができ、参加した親子に大変喜ばれました。(H29年11月19日実施)</p> <p>【自己評価】 ○不要園芸土の持ち込みも、ホームページなどで周知しているため、電話での問い合わせも多くなり、持ち込まれる方も多くなりました。また、管理作業と合わせた企画として催した、「親子で楽しむおさかな調査隊」も大変好評で、心字池の新たな魅力を生み出せました。</p>	A	<p>事業実施計画書の提案などに沿った自然環境学習など取り組みを実施した。</p> <p>○不要園芸土の持ち込みや管理作業と併せた企画を実施するなど自然環境に対する取り組みを積極的に行っている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 不要園芸土の持ち込みや管理作業と併せた企画を実施するなど、自然環境に対する取り組みを積極的に行っている点が評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	<p>【実績】 ○前年度より取り組んでいる安全衛生協議会と園内の安全パトロールも定着し、職員の安全管理と園内利用者の安全徹底に取り組みました。 ○職員の異常発見の目を養うことを目的とした、業務日誌の書き方を指導しており、異常の早期発見に取り組んでいます。 ○直接的に公園管理に携わらず、利用者目線や、住吉公園の事業計画を理解されている方からのチェック機能が働くよう、外部他公園(住之江公園指定管理共同体の本社職員)により、月1回のインスペクション(検査)を実施しました。検査結果に観察事項等の指摘があった場合は、朝礼と回覧で全スタッフで共有を図り、直ちに是正、改善を行い、PDCAサイクルを有効に機能させることで安全管理の徹底を図りました。 ○遊具の安全点検は、毎日の日常点検と毎月1回、職員による定期点検、年1回は専門業者による遊具精密点検を実施しました。 ○来園者が園内での危険を察知し、公園事務所に通報していただいた時には丁寧な対応と速やかな処理を心がけ、連絡しやすいムード作りを行い、今後も公園の見守りをしていただけるように努めました。</p> <p>【自己評価】 ○住吉公園と久宝寺緑地の合同による「安全衛生協議会」や安全パトロール、第三者の検査インスペクションが有効に機能し、スタッフの安全意識向上、園内の安全管理強化につながりました。</p>	A	<p>事業実施計画書の提案などに沿った利用者の安全確保を実施した。</p> <p>○他公園と合同で安全パトロールを実施をすることにより、スタッフの安全意識の向上、園内の安全管理強化につながっていることは、高く評価できる。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 他公園と合同で安全パトロールを実施をすることにより、スタッフの安全意識の向上、園内の安全管理強化につながっていることなどが評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	<p>【実績】 ○11月に消防署職員に来園していただき、消防訓練を実施しました。 ○1月に参集訓練と災害時における公園巡視や、立ち入り禁止措置の訓練を行う予定です。</p> <p>【自己評価】 ○常に災害を意識し、非常時の体制が取れるように訓練や研修を実施していきます。</p>	A	<p>事業実施計画書の提案などに沿った危機管理体制の構築を行った。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。 府の防災訓練への協力など、防災安全意識の向上に努めたことは評価できる。 引き続き、危機管理体制の維持・充実に努力されたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【住吉公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】 ○花の回廊の景観づくりとして、汐掛道沿いに波をイメージした立体的な花壇の製作を行いました。また、花と水の広場の花壇において、青海波の文様をイメージした花壇をデザインし、ウォーターカーテンや噴水との調和の取れた花壇として、利用者に喜んでいただいています。 ○花の回廊に景観づくりに合わせ、水の回廊に多数植栽された黒松の剪定を4月に行いました。更に、12月に行う予定の古葉落としについては、住吉公園の新たな紋を染めた、半纏を新調し、それを着た職人が松を剪定するという、正月を迎える行事にする予定です。 ○障がい者雇用や就労支援のために、エル・チャレンジとの共同・連携により、就労訓練や売店経営を行っていただきました。 ○住之江公園と連携し、住之江・住吉公園ヒーリングガーデナークラブの活動支援を行いました。</p> <p>【自己評価】 ○大阪ミュージアム構想を推進するために歴史の重みを感じ、美しい景観を作り出せるように管理を推進しています。また、新たな賑わい創出と品格のある公園づくりをこれからも行っていきます。</p>	A	事業実施計画書の提案などに沿った府施策との整合が図られた。	A	府の施策へ積極的に協力し、障がい者の雇用状況改善に貢献していることは評価できる。 引き続き、良好な管理運営に努められたい。
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】 今年度アンケート結果のうち特筆するものは以下のとおりです。 全体的満足度1.3 (I)植物管理1.4 (II)サービス:①高齢者・障がい者・乳児等への配慮1.1 (III)サービス:②売店等のサービス施設0.9 (III)サービス:③イベントの種類・数1.0・④ホームページやイベント案内の充実1.0</p> <p>【自己評価】 ○草の生育状況を見ながら草刈りのタイミング、頻度を工夫し、より利用者目線に立った管理を目指します。 ○高齢者や障がい者へのさらなるサービス向上のため、ホワイトボードを管理事務所と体育館・集会所に設置し、筆談用に使えるようにします。 ○売店に求められる利用者ニーズの把握につとめ、サービス向上につとめます。</p>	A	○公園の全般的な満足度は1.3とやや良いを上回っている。	A	総合的な満足度は良好であり、適切な管理運営に努めている。 売店サービスなど、公園利用者の更なる満足度向上に向け、引き続き適切な維持管理・運営管理に努められたい。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【住吉公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取り組みを行ったか。	<p>【実績】 ○住吉公園は「花の回廊」を最大のアピールポイントとして、美しく、和める、憩える公園の維持に努めました。 ○樹木管理では、汐掛道のセンダン等の透かし剪定、マツの剪定に注力し、住吉公園に相応しい景観づくりに取り組みました。 ○地域に根付き、地域と連携したイベントの開催(「住吉公園さくらカーニバル」の復活、「すみすみマルシェin住吉公園」等)、地域の一員として「粉浜サポーター」や「すみのえCSOネットワーク」に参画し、地元のフリーペーパー「こはマガ」に住吉公園のイベント情報等を掲載していただき、広報活動に取り組みました。 ○BBQの課題に向けた「住吉公園さくらサポーター」の取り組みとして、BBQ利用者のマナーアップを図るため、BBQ届出制を実施。届け出の際にマナーについての注意喚起、アンケートによるニーズ把握につとめました。 ○広報の強化を図るため、今年度より季刊誌「まちの公園新聞」をリニューアルし、手に取って読んでみたいと思っただけのよう、デザインや構成を工夫しました。</p> <p>【自己評価】 ○地域との関係性を深め、公園を大切に想っていただく機会を増やしてマナーアップを図り、地域一体となり園内美化に取り組むことができました。また、イベント企画、広報活動にも効果を得ることができました。</p>	A	○前年度のアンケート調査に対して、イベント企画及び広報の充実を実施した。	A	前年度低い評価を受けたイベント企画及び広報の充実について、改善を図った点が評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。
(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】 ○心字池の浚渫時に合わせ、地元の大和川で自然環境活動に取り組まれる市民団体「大和川釣りクラブ」に講師依頼し、「親子で楽しむおさかな調査隊」を行い、心字池の生きもの調査と、外来種の駆除を行いました。 ○汐掛道や遊戯場付近の高木危険枝の剪定と切り戻し・透かし剪定を行いました。 ○住吉公園さくらカーニバルを復活させ、賑わいの創出に取り組みました。 ○「まち探検隊」として粉浜小学校から受け入れ、公園についての教室を開きました。(H29年11月10日開催/参加者9名) ○住吉公園の景観づくりにとって重要なマツの剪定に取り組み(みどり摘み・古葉落とし)、また住吉公園の新たな風物詩ともなるよう、住吉公園オリジナルの絆纏を新調し、インバウンドへの対応等新たな取り組みとして根付かせていきます。</p> <p>【自己評価】 ○歴史を重んじる公園として、きめ細やかな管理と文化的なイベントができました。 ○粉浜小学校の生徒たちが絵を描いて、お礼状をいただきました。</p>	S	○心字池の浚渫に併せて、来園者と生き物調査及び外来種の駆除を実施したことに対しては、非常に高く評価できる。 ○住吉公園の歴史的公園の考えに沿った景観づくりなどは高く評価できる。	S	心字池の浚渫に併せて、来園者と生き物調査及び外来種の駆除を実施したことや、住吉公園の歴史的公園の考えに沿った景観づくりなどの点が高く評価できる。 今後とも、積極的な取り組みを期待する。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【住吉公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目						
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行楽シーズンに悪天候が続いたため、スポーツ施設の稼働率が減少したこと、また、体育館では、昨年度の高等学校の体育館改修工事のためのご利用が無くなったことなどから、体育館・オーパス施設ともに収益が伸び悩みました。 ○求められる以上の樹木管理を行うため、汐掛道をはじめとした高木等の透かし剪定に注力し、また、台風被害による伐採処理、危険木の伐採を行い、園内が明るく、安全にご利用いただけるよう努めました。また、予算を睨みながら、外注委託等による経費削減にもつとめました。 ○樹木剪定や危険木の伐採により発生した材は、有価材として引き取ってもらえるものを分別し、処分費の経費削減につなげました。 ○地域との関係性を深めるためのイベントに積極的に取り組みながら、「住吉公園さくらカーニバル」では、クリエイター起用による野点(茶室の設え)など、文化的な取り組みにつとめました。 ○住吉公園の景観づくりにとって重要なマツの剪定に取り組み(みどり摘み・古葉落とし)、また住吉公園の新たな風物詩ともなるよう、住吉公園オリジナルの絆纏を新調し、インバウンドへの対応等新たな取り組みとして根付かせていきます。 ○これらの投資を活かして運営・維持レベルの向上を図り、安全・安心の確保、住吉公園の認知度を上げ、より美しい景観形成、サービスの向上につとめ、来園者の増加を図りつつ、収支を合わせていきます。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○求められている管理レベル以上の維持・管理を行い、予算内に収まるよう努めました。 	A	○収支は概ね予定通りである。	A	ほぼ計画的な予算執行である。引き続き、適切な収支バランスの維持に努められたい。
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○管理体制表及び職員配置計画通りの体制をとり、計画通り配置しました。 ○公園管理運営士や造園施工管理技士等の人員が本社より定期的に訪れ、公園内の施設や運営状況を管理・検査し、適切な対応を図りました。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画通りに配置できました。 ○本社による外部からの目線で公園の運営や施設を見守ることで、二重のチェックができました。 	A	○事業実施計画書の提案などに沿った管理体制及び職員体制を実施した。	A	—
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○造園施工管理技士1級(1名) ○造園施工管理技士2級(1名) ○防火管理者(1名) ○電気主任技術者(1名) ○ボイラー取り扱い技能(1名) <p>必要な技術者以上の配置ができ、業務が円滑に遂行できました。</p> <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○必置技術者以上の配置ができました。 	A	○事業実施計画書の提案などに沿った必置技術者等を配置した。	A	—

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	施設所管課の評価	評価 (S~C)	【住吉公園】 評価委員会の指摘・提言
	労働災害等未然防止のための管理運営。 (外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	【実績】 ○月1回、交互に久宝寺緑地と住吉公園で安全衛生協議会を開催し、安全教育・安全指導に努めました。 ○毎朝の朝礼で危険予知活動を実施し、1日の作業についての災害防止に努めました。 ○利用者を巻き込む第三者災害については日ごろから注意を怠らず、全員で注意しています。 【自己評価】 ○安全第一のスローガンのもと、安全がすべてに優先することを全員に周知し、作業に当たっています。	A	○事業実施計画書の提案などに沿った労働災害等を防止した。 ○他公園との安全衛生協議会は継続することを期待している。	A	労働災害管理上の問題が発生しておらず、今後も労働災害等を発生させることなく管理運営に努められたい。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無いかな。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	【実績】 とくに問題はありません。 【自己評価】	A	○特に、問題は見当たらない。	A	財政状態はおおむね良好であるが、直近に純利益、経常利益、営業利益および営業キャッシュフローがマイナスである構成団体がある。